

森合小学校だより



みんなの森合小

NO. 3

令和6年6月26日

森合小学校長 柏谷智也

～自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

ご多用の中、お越しいただきありがとうございました

6月17(月)日の「みんなの森小デー」には、何かとご多用の中、多くの保護者の皆様にお越しいただきましてありがとうございました。

当日は3校時目に「全校道徳」を実施しました。1年から6年までが所属するなかよし班ごとに「いじめ」について、アンケートの結果や、いじめに関する動画を視聴し、それらをもとに話し合いました。動画では「いじり」や「からかい」が大きないじめに発展してしまうこと、いじめはされている人の気持ちに立つことが大切なことを学んでいました。異学年での話し合いのため、普段の授業のようにスムーズに話し合うことは難しいですが、6年生の皆さんがリーダーシップを発揮しながら話し合いを進めてくれました。6年生には、日頃より森合小学校のリーダーとして活躍する姿がたくさん見られ、とても頼もしく感じています。

次回の「みんなの森小デー」は9月13日(水)です。是非、森合小学校にお越しいただき、お子様の頑張っている姿を参観ください。よろしく願いいたします。

住んでいる地域を知る、地域にかかわる

森合小学校では1年～2年生の「生活科」4年生～6年生の「総合的な学習」で森合地区の自然環境、公園や神社や公共施設について学習しています。日頃接している場所でも、改めて深くかかってみると、新たな発見の連続に、子どもたちもワクワクしながら活動しています。知ることを通して、子どもたちが森合地区への思いを深めてほしいと願っています。なお、この取組の成果を10月23日(水)市内の小中学校の先生方に研究公開をする予定です。



5年生、いわきに行ってきました

6月12日(月)～14日(水)、5年生が宿泊学習でいわき海浜自然の家に行ってきました。

曇り空の下での出発でしたが、いわきに着くころにはカラッと晴天、さっそく磯遊びをしました。カニ、ウミウシ、ウニ、ヒトデなど様々な生き物を見つけ歓声を上げていました。その他、野外炊飯、キャンプファイヤーなどの活動を通してたくさんの思い出づくりができました。最終日は双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」を訪れました。震災を経験していない皆さんにとっては、動画や展示資料を通して、より具体的に震災の様子を知りきっかけとなったようでした。

自分のことは自分で決める。

子どもたちには自分のことは「自分で決める」ことができるようになってほしいと思っています。人から与えられたこと、自分で決めたことではその取組への「意欲、やる気」は全く違ってきます。授業の中でも、学年の実態に応じ様々な場面で子どもが「選ぶ場」を設定しています。学習内容だけでなく自分一人で、友達と一緒に、タブレットを使って、ノートと鉛筆で・・・など。このような機会を多く取り入れ、自ら学習をマネジメントできるような子どもたちになってほしいと願っています。